

6 議題（2）

鴻巣市下水道事業 経営戦略の概要

第1回審議会 資料5

鴻巣市下水道事業経営戦略の概要

- 1 策定の目的
- 2 経営戦略の位置づけ
- 3 計画期間
- 4 下水道事業の課題
- 5 基本理念と基本目標
- 6 目標実現に向けた施策

1 策定の目的

鴻巣市、吹上町（昭和56年4月～）、川里町（平成13年4月～）供用開始
1市2町の合併による事業統合（平成17年10月）

「地方公営企業会計」を適用（平成19年4月）

- 事業の経営状況を的確に把握
- 資産管理を効率化して、適切な維持管理や事業投資を実施

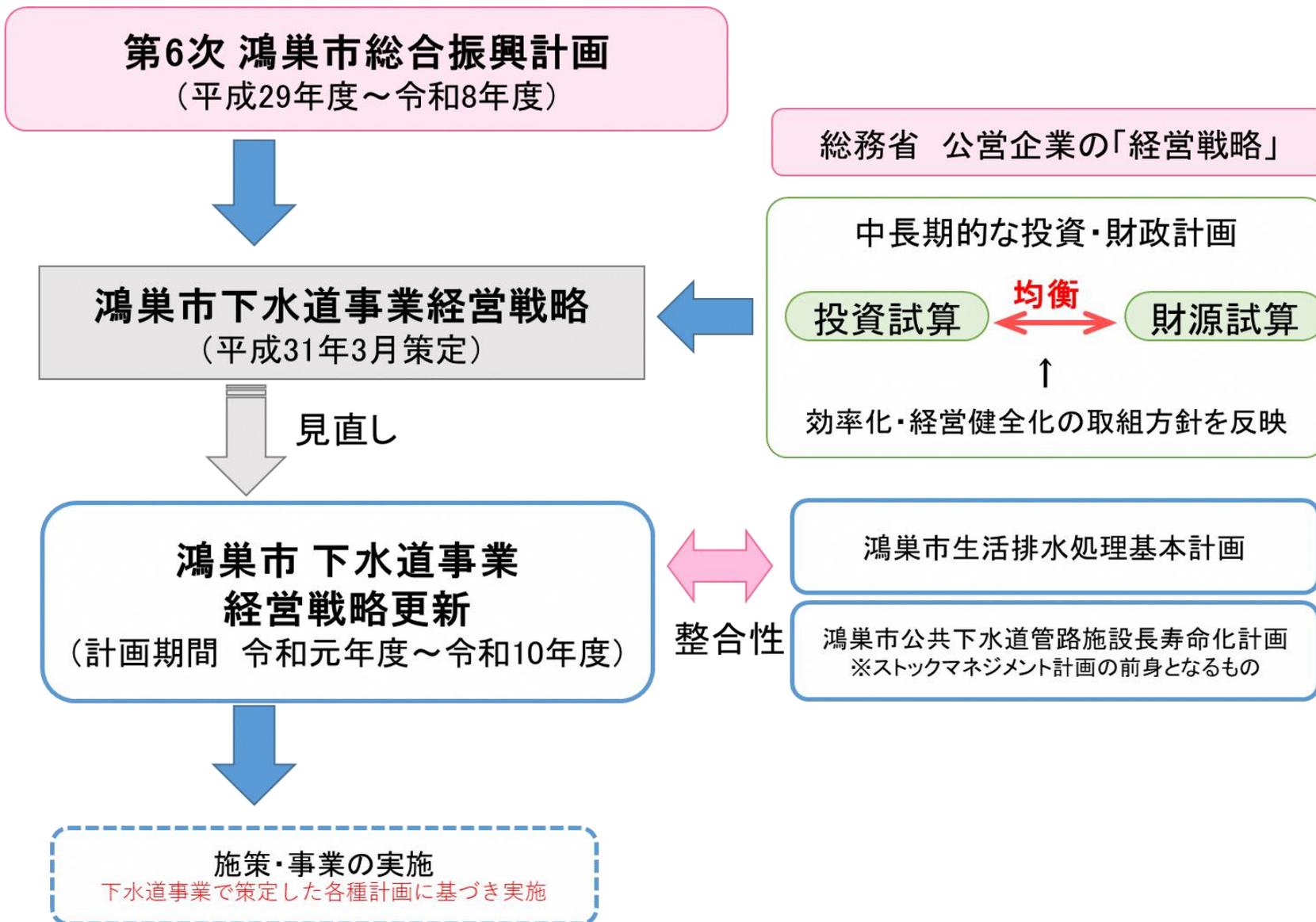
下水道事業における課題

- 土地区画整理事業などによる下水道の整備
- 浸水被害、地震被害に対する備え
- 下水道施設の更新需要の増加 ● 中長期的な視点に立った経営

持続可能な下水道事業の運営を図るため

「鴻巣市下水道事業経営戦略」（平成31年3月）策定

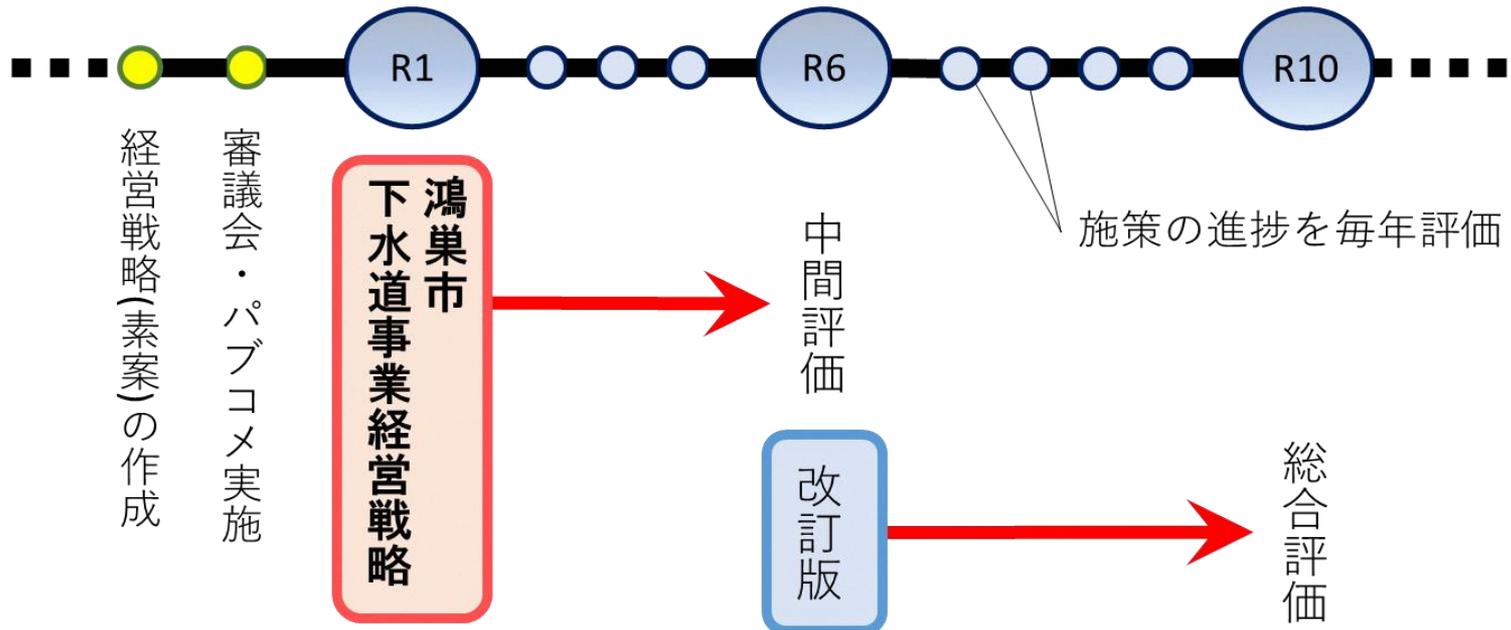
2 経営戦略の位置づけ



3 計画期間

- 令和元年度から令和10年度までの10年間
(50年後、100年後の将来像を長期的に見据え策定)
- 事業の進捗状況を毎年評価

⇒概ね5年毎に、経営戦略の評価および更新を行う



4 下水道事業の課題

◆快適な生活環境の確保

- 汚水整備の推進（未普及地区の解消、区域の見直し）

⇒ 汚水整備を進めつつ、計画区域を適切に設定する

◆整備済み区域

H29末 1,448ha

整備率 94.6%



R4末 1,504ha

整備率 97.2%

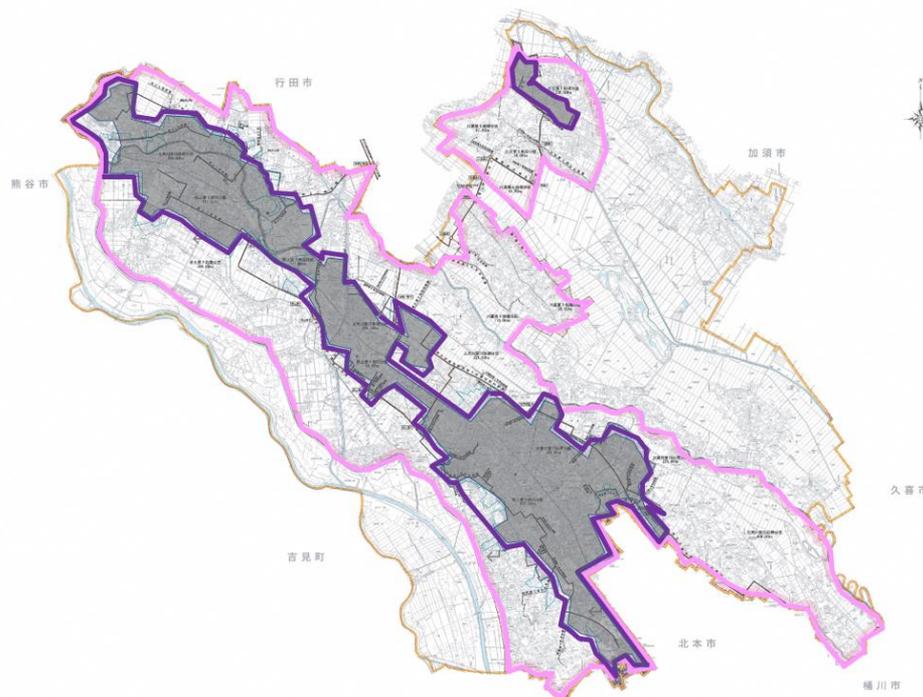


図 鴻巣市流域関連公共下水道(汚水)整備区域図

4 下水道事業の課題

◆災害に対する安全性の確保

●雨水整備の継続（浸水防除）

⇒浸水被害を軽減するため、雨水整備を継続する

◆整備済み区域

H29末 304ha

整備率 40.7%



R4末 331ha

整備率 44.4%

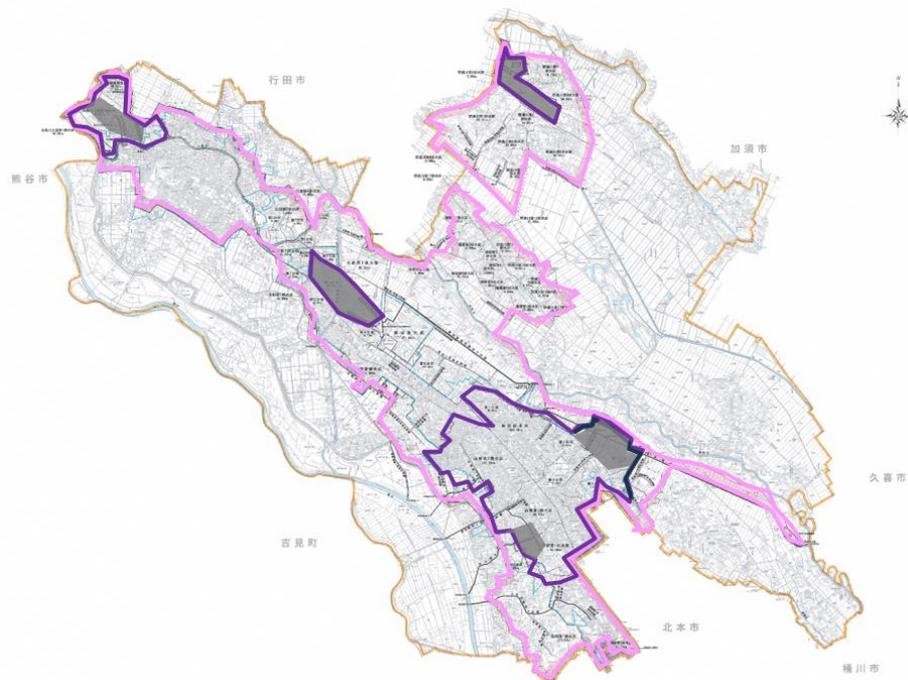


図 鴻巣市流域関連公共下水道(雨水)整備区域図

4 下水道事業の課題

◆災害に対する安全性の確保

●地震対策の推進（計画の策定、財源の確保）

⇒下水道施設の耐震性能の確認、耐震化の実施

⇒「下水道総合地震対策計画」の策定

⇒「下水道BCP（業務継続計画）」の実効性の維持

4 下水道事業の課題

◆健全で持続的な下水道事業の実現

●老朽化対策の推進(財源の確保)

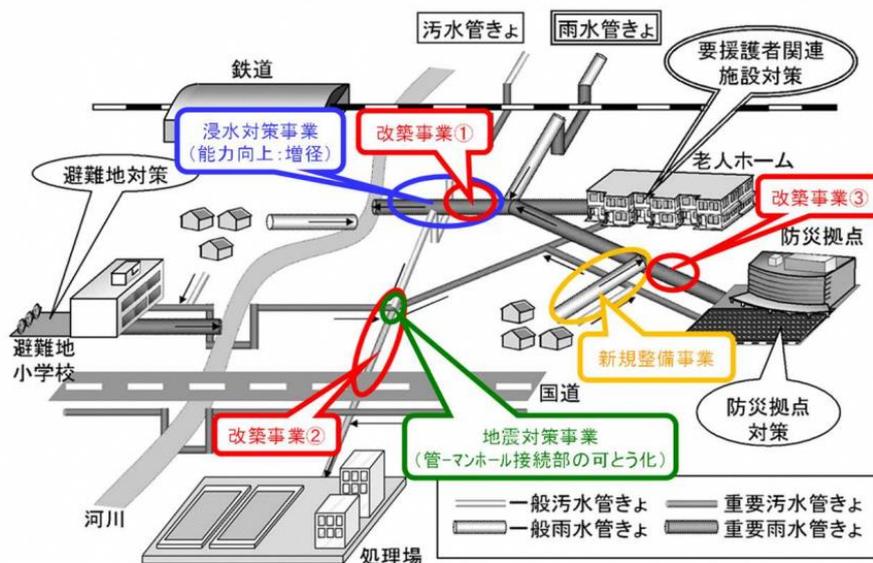
⇒膨大なストック（資産）を将来にわたって適切に管理

◆布設延長（污水管渠）

平成29年度末 約423km



令和4年度末 約441km



維持管理のイメージ

4 下水道事業の課題

◆健全で持続的な下水道事業の実現

(経営指標による現状把握)

●本市と同規模の類型団体と指標の比較を実施

| 事業 | 処理区域内人口(人) | 区分 | 有収水量密度(m3/ha) | 区分 | 供用開始後年数 | 区分 |
|--------------|------------|------|---------------|----|-----------|----|
| 公共下水道 | 政令市 | 政令市等 | 7.5千以上 | a | 25年以上 | 1 |
| 特定環境保全公共下水道 | 10万以上 | A | 5.0千～7.5千未満 | b | 15年～25年未満 | 2 |
| 農業集落排水施設等 | 5万～10万未満 | B | 2.5千～5.0千未満 | c | 5年～15年未満 | 3 |
| 小規模集合排水処理施設等 | 1万～5万未満 | C | 2.5千未満 | d | 5年未満 | 4 |
| | 5千～1万未満 | D | | | | |
| | 5千未満 | E | | | | |

■…本市が該当する区分



令和4年度決算 経営比較分析表

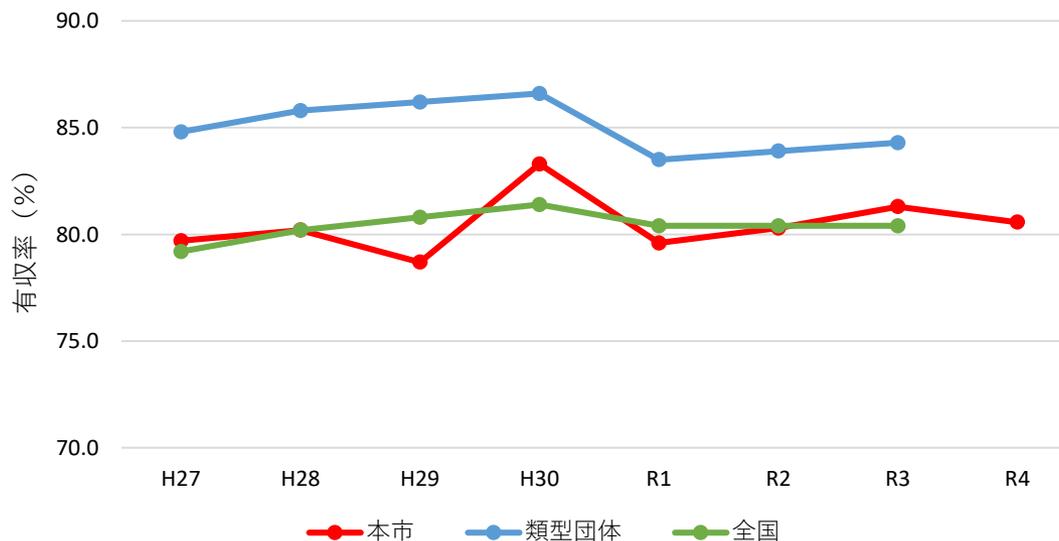
⇒課題の抽出 (有収率、経費回収率、適正な使用料の検討)

4 下水道事業の課題

◆健全で持続的な下水道事業の実現

●有収率の向上

⇒有収率（有収水量 ÷ 汚水処理水量）が低い傾向



注釈：R4年度は類似団体、全国で決算が未公表のため本市のみ表記

出典：下水道事業経営指標・下水道使用料の概要（総務省）

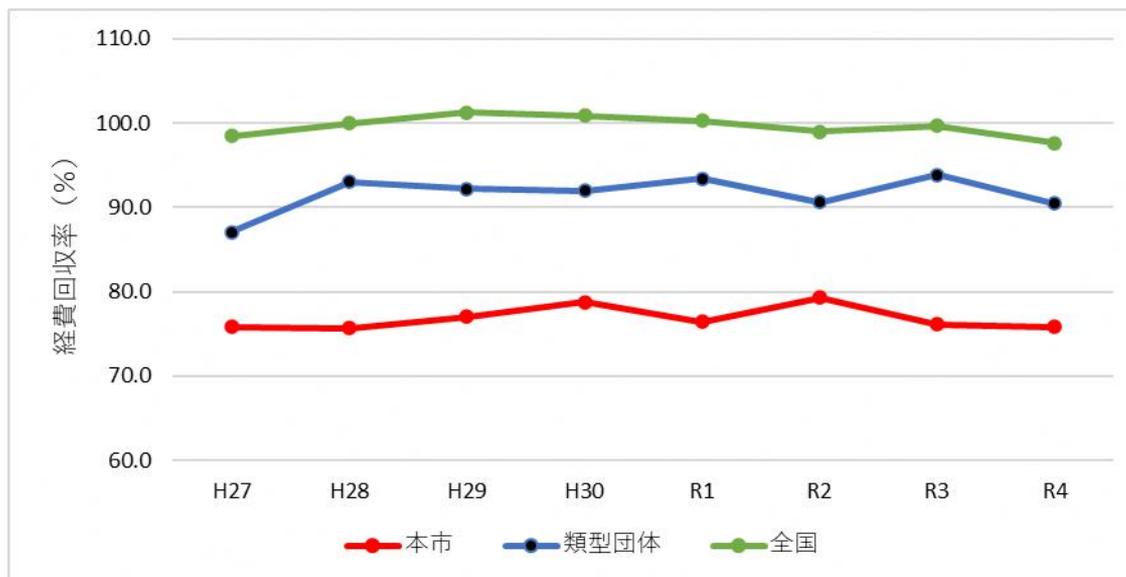
⇒不明水処理により施設の効率性が下がっている

4 下水道事業の課題

◆健全で持続的な下水道事業の実現

●経費回収率の向上

⇒経費回収率（使用料収入 ÷ 汚水処理費）が低い傾向



類似団体：処理区域内5～10万人、有収水量密度5～7.5^m³/ha、供用開始25年以上の本市と同規模事業

出典：下水道事業経営指標・下水道使用料の概要（総務省）

⇒汚水処理に要する費用を収入で賄えていない

5 基本理念と基本目標

◆ 基本理念

「豊かな自然と快適で安心な暮らしを、
未来へつなぐ 鴻巣の下水道」

◆ 基本目標

- 快適な生活環境の確保
- 災害に対する安全性の確保
- 健全で持続的な下水道事業の実現

6 目標実現に向けた施策

快適な生活環境の確保

【基本方針】未普及地区の解消

- 污水管整備の継続
- 全体計画区域の見直し

災害に対する安全性の確保

【基本方針】浸水に対する備え

- 雨水対策施設の整備

【基本方針】地震に対する備え

- 総合地震対策計画の策定
- 既存下水道施設の耐震化
- 下水道BCPの継続的運用

健全で持続的な下水道事業の実現

【基本方針】施設の老朽化対策

- 計画的な調査・点検
- 計画的な修繕・改築

【基本方針】経営の安定化

- 接続率の向上（戸別訪問）
- 下水道使用料の見直し
- 資本費平準化債の活用
- 有収率の向上

【基本方針】管理体制の効率化

- 組織体制の維持
- 広域化の推進
- 民間活用の推進
- 技術継承

【基本方針】広報活動

- マンホールカードの配布
- 見学会・出前講座の開催

6 目標実現に向けた施策

～快適な生活環境の確保～

◆汚水管整備の継続

- 市街化区域を中心に下水道の新規整備を継続

⇒令和7年度（2025年度）までに市街化区域（1,530.1ha）
の整備完了



2025年度までの
整備完了

6 目標実現に向けた施策

～快適な生活環境の確保～

◆全体計画区域の見直し

- 費用対効果や水質保全効果を検証し、下水道整備が必要な区域を抽出
- 適切な全体計画区域の見直し



整備区域の凡例
全体計画区域の見直しのイメージ

出典：持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル 平成26年1月

6 目標実現に向けた施策

～災害に対する安全性の確保～

◆ 浸水に対する備え

● 雨水対策施設の整備の継続

⇒浸水実績や人口集中箇所から、早期に対策が必要な箇所を優先

⇒令和10年度（2028年度）までに7.1kmの雨水幹線の整備
を目標に進める



出典：令和元年東日本台風の被災状況（忍川（行田市））埼玉県HP

6 目標実現に向けた施策

～災害に対する安全性の確保～

◆ 地震に対する備え

- 総合地震対策計画の策定

 - ⇒総合地震対策計画を令和7年度（2025年度）までに策定

- 既存下水道施設の耐震化

 - ⇒重要な管きよの耐震診断及び、耐震補強の実施

 - ⇒重要な幹線等の耐震化を令和8年度（2026年度）より着手



令和6年能登半島地震における下水道施設被災状況

6 目標実現に向けた施策

～災害に対する安全性の確保～

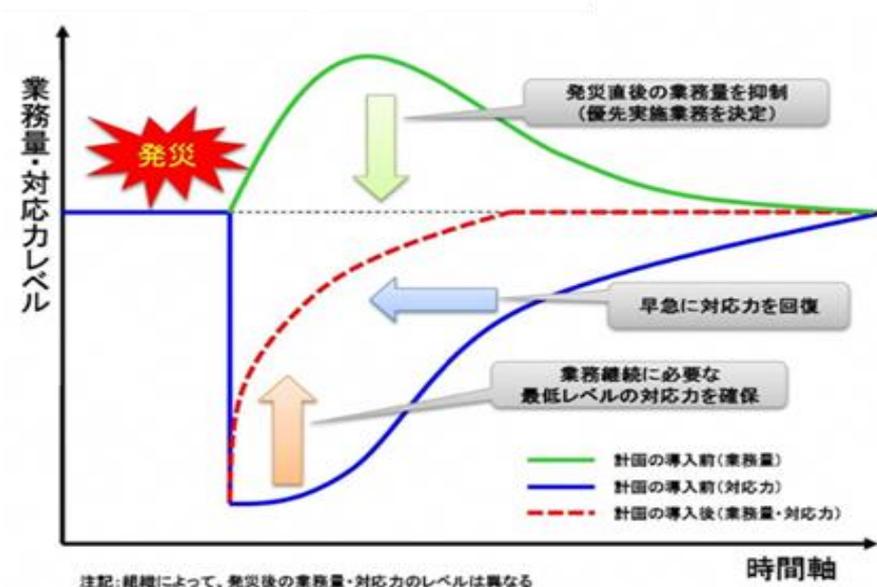
◆ 地震に対する備え

● 下水道BCP の継続的運用

⇒災害発生時でも適切に業務を継続することを目的としたもの

⇒職員の参集方法や、他の自治体や民間企業との応援・連絡体制、行動計画を定めたもの

下水道BCPの導入による効果のイメージ⇒



6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 施設の老朽化対策

- スtockマネジメント計画の策定

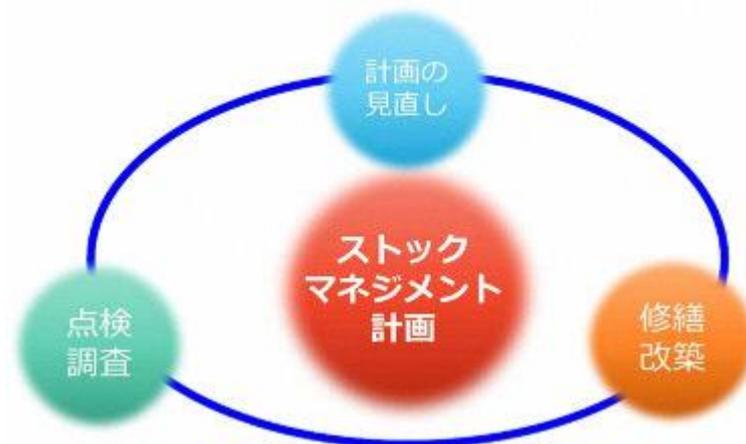
⇒ 効率的な施設のマネジメントを行う

- 調査・点検の実施

⇒ 腐食が懸念される管きよは5年に1度点検

- 修繕・改築の実施

⇒ 調査・点検で不具合が発見された管きよは、修繕や改築を実施



6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 経営の安定化

● 接続率の向上（戸別訪問）

⇒公共用水域の水質保全、下水道の整備に要した投資の回収により、安定した下水道経営を行っていくためにも重要

⇒令和10年度（2028年度）までに接続率98.0%を目指す

6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 経営の安定化

● 下水道使用料の見直し

⇒更新を見据えた資産維持費や人口減少による使用料収入の減少

⇒令和5年度（2023年度）までに見直し検討



下水道使用料見直しのイメージ

6 目標実現に向けた施策

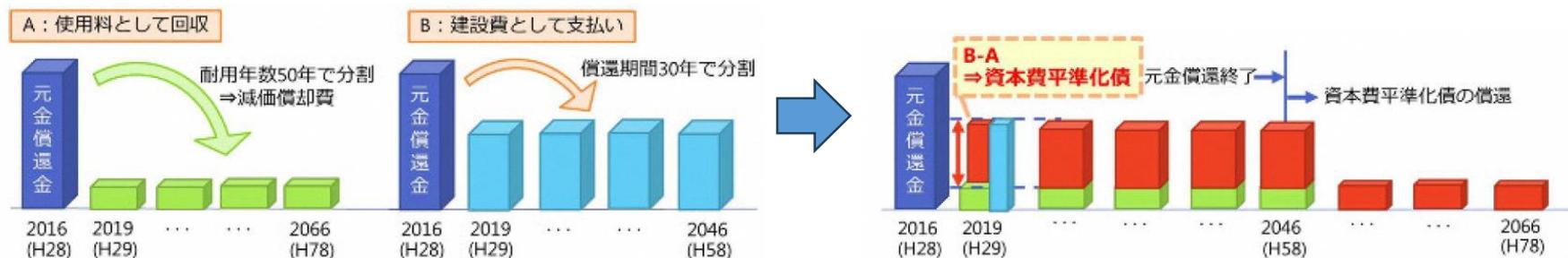
～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 経営の安定化

● 資本費平準化債の活用

⇒世代間の負担に差が生じないように、資本費平準化債を継続的に活用

⇒100 百万円/年を発行予定



資本費平準化債のイメージ

6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 経営の安定化

● 有収率の向上（不明水対策）

⇒老朽化対策として実施する管路内調査と併せ、不明水の有無をチェック

⇒必要な箇所には地下水や雨水の侵入を防ぐ対策を実施

⇒効果的な不明水対策に関する情報収集の継続

使用料の対象とならない地下水や雨水の侵入（不明水）を防ぐことにより、有収率の向上につなげる。

6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 管理体制の効率化

- 組織体制の維持

 - ⇒業務の効率化により新規事業にも現状の人員での対応

- 広域化、民間活用の推進

 - ⇒市町村の枠を越えた広域化の推進

 - ⇒管路、ポンプ場維持管理の包括的民間委託の導入検討

- 技術継承

 - ⇒講習会等への参加、定量的評価のための指標の設定

6 目標実現に向けた施策

～健全で持続的な下水道事業の実現～

◆ 広報活動

- マンホールカードの配布
⇒市をイメージしたマンホールカードを作成、配布
- 現場見学会の開催
⇒下水道水処理施設の見学
- 出前講座
⇒「職員出前講座」の実施

